

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）事故報告様式

平成 年 月 日 / 第 報

自治体名	運営方法 (委託又は補助の場合は 運営団体名)		直営・委託・補助 運営団体名:
所在地	開設年月日		年 月 日
設置者	代表者名		
電話連絡先	FAX連絡先		
会員数	依頼会員 名	提供会員 名	両方会員 名
事故対応 マニュアルの状況	有・無	安全・事故に関する研修の直 近の実施日	平成 年 月 日
事故発生日時		平成 年 月 日 時 分頃	
子どもの年齢・性別		歳 ヶ月 児	
ファミリー・サポート・センター 利用開始年月日		平成 年 月 日	
依頼内容			
病状・死因等 (既往症)	既往症:	病院名	
発生場所			
発見時の 子どもの様子			
発生状況 (当日の健康状 況、発生後の処置 を含め、可能な限 り詳細に記入。な お、第1報におい ては、可能な範囲 で記入。)	時間	内 容	
当該事故に 特徴的な事項			
発生後の対応 (報道発表を行う (行った)場合に はその予定(実 績)を含む。)			

- 1 第1報は水色着色部分について報告してください。
- 2 第1報は原則事故発生当日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、でき次第報告してください。
- 3 発生状況欄は適宜広げて記載してください。
- 4 発生時の状況図(写真等を含む。)を添付してください。なお、遊具等の器具により発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。

【データベース掲載用】

事故の概要

--

個人情報に配慮の上、事故の背景が見えるように概要を記載してください。

事故発生の要因分析

要因	分析	再発防止のための改善策
ソフト面 (マニュアル、研修等)		
ハード面 (預かり場所等)		
環境面 (活動時の状況等)		
人的面 (提供会員の状況)		
その他		

事故発生の要因分析に係る自治体コメント

--

国に報告をする際に、事業者の要因分析に加え、必要な事項等があれば記載してください。

事故報告様式送付先：厚生労働省子ども家庭局保育課（子育て支援課）子育て援助活動支援係
(FAX：03-3595-2749)
消費者庁消費者安全課
(FAX：03-3507-9290)

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）事故報告様式（記載例）

平成 年 月 日 / 第 報

自治体名	県 市	運営方法 (委託又は補助の場合は 運営団体名)	直営(委託・補助) 運営団体名: 社会福祉協議会
所在地	市 1 - 1 - 1	開設年月日	平成 年 月 日
設置者	市 社会福祉協議会 等	代表者名	市長 代表
電話連絡先	- -	FAX連絡先	- -
会員数	依頼会員: 名	提供会員: 名	両方会員: 名
事故対応 マニュアルの状況	有・無	安全・事故に関する研修の直 近の実施日	平成 年 月 日
事故発生日時		平成 年 月 日 時 分頃	
子どもの年齢・性別		1歳5ヶ月 男児	
ファミリー・サポート・センター 利用開始年月日		平成 年 月 日	
依頼内容		買い物の際の子どもの預かり	
病状・死因等 (既往症)	骨折		
	既往症: なし	病院名	病院
発生場所	公園		
発見時の 子どもの様子	公園の遊具で遊んでいる際に遊具(うんてい)から落下。手を強打した。		
発生状況 (当日の健康状 況、発生後の処置 を含め、可能な限 り詳細に記入。な お、第1報におい ては、可能な範囲 で記入。)	時間	内 容	
	10:30 11:00 11:15 11:30 11:45 12:00 年月日	提供会員宅にて援助活動開始 子どもが外に出たいというので近所の公園に連れて行く。 提供会員が少し目を離していた際に、遊具(うんてい)の上に登り落下。地面 に手をついた際、痛みを訴える。 依頼会員及びアドバイザーに連絡するとともに、子どもを病院に連れて行き、 レントゲン検査を受けさせたところ、手首を骨折していた。全治 ヶ月。 提供会員より連絡を受けた依頼会員、アドバイザーが病院に到着。 提供会員から説明を受けた後、医師より帰宅しても問題はない旨説明があり、 依頼会員と帰宅。 完治。	
当該事故に 特徴的な事項	普段は提供会員宅で子どもの面倒を見ているが、この日は子どもが外に出たいと言ったた め、近所の公園に連れて行った。提供会員が目を離した際に、子どもが遊具(うんてい) を誤った使用方法で使い、事故が発生した。		
発生後の対応 (報道発表を行う (行った)場合に はその予定(実績) を含む。)	・センターの対応 / 提供会員からの連絡を受け、児童の保護者と面談し、説明。 / センターにおいて、提供会員に対し、安全・事故等に関する研修を実施。 ・市の対応 / 記者クラブへ概要を説明。		

1 第1報は水色着色部分について報告してください。

2 第1報は原則事故発生当日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、でき次第報告してください。

3 発生状況欄は適宜広げて記載してください。

4 発生時の状況図(写真等を含む。)を添付してください。なお、遊具等の器具により発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。

【データベース掲載用(記載例)】

事故の概要

<p>月 日</p> <p>10:30 提供会員宅にて援助活動開始</p> <p>11:00 子どもが外に出たいというので近所の公園に連れて行く。</p> <p>11:15 提供会員が少し目を離していた際に、遊具(うんてい)の上に登り落下。地面に手をついた際、痛みを訴える。</p> <p>11:30 依頼会員及びアドバイザーに連絡するとともに、子どもを病院に連れて行き、レントゲン検査を受けさせたところ、手首を骨折していた。全治 ヶ月。</p> <p>11:45 提供会員より連絡を受けた依頼会員、アドバイザーが病院に到着。</p> <p>12:00 提供会員から説明を受けた後、医師より帰宅しても問題はない旨説明があり、依頼会員と帰宅。</p> <p>月 日：提供会員がセンターに報告書を提出。</p> <p>月 日：センターにおいて、提供会員に対して安全・事故等に関するフォローアップ研修を実施。</p> <p>月 日：完治</p>

個人情報に配慮の上、事故の背景が見えるように概要を記載してください。

事故発生の要因分析

要因	分析	再発防止のための改善策
ソフト面 (マニュアル、研修等)	・事故防止マニュアルの整備ができていなかった。	・事故防止マニュアルを整備し、提供会員に対し研修を実施し周知した。
ハード面 (預かり場所等)	・通常、提供会員宅で子どもを預かること、事故発生時は公園に行っていた。	・やむを得ず提供会員宅以外の場所で子どもを預かる場合、十分注意するようフォローアップ研修で提供会員に再度周知した。
環境面 (活動時の状況等)	・子どもが負傷した際、提供会員が目を離してしまっていた上、子どもが誤った使用方法で遊具を使い、事故が発生した。	・提供会員に活動中子どもから目を離さないよう伝えるとともに、フォローアップ研修において、遊具等の正しい利用について注意喚起を行った。
人的面 (提供会員の状況)	・提供会員は公園で時々遊ばせることについての依頼を何度も受けており、今回も問題なくこなせると考えていた。	・何度もこなして慣れている依頼内容でも、突発的に子どもが予測できない行動を取ることがあるため、提供会員に注意喚起を行った。
その他	今回の事例については、提供会員は適切に事実関係の報告等を行っていた。	今後も事故等が発生した際には、事実関係の報告等を適切に行うよう、提供会員に注意喚起を行った。

事故発生の要因分析に係る自治体コメント

<p>身近な事故に対する防止マニュアルを整備してこなかったことから、今回の事故を受けて、事故防止マニュアルを作成し、提供会員に配布した。</p>

国に報告をする際に、事業者の要因分析に加え、必要な事項等があれば記載してください。

事故報告様式送付先：厚生労働省子ども家庭局保育課（子育て支援課）子育て援助活動支援係
 （FAX：03-3595-2749）
 消費者庁消費者安全課
 （FAX：03-3507-9290）